

第5戦 ベルギーGP (スパ・フランコルシャン)

1. 予選中(1)

[初] Part13(490)

S.モス(Stirling Moss)

前の周回で、19台中3番手のタイムを彼が叩き出した直後、ケメルストレートの先のS字を抜けた後の長い直線で、左リアタイヤが脱落。

マシンはガードレールにほぼ直角に突き刺さり、それを破って土手に激突、バウンドしてコース上に跳ね返り横倒しになった。

モスは胸部打撲、頬骨と両足を骨折、手に裂傷を負うという重傷だった。

2. 予選中(2)

[初] Part13(490)

M.テイラー(Mike Taylor)

一周も走る事なく、超高速のブランシモンでコースのバンプによりマシンが跳ね上がり、トンボ返りをするように縦転。

車輪は全輪が吹き飛び、マシンから放り出されたドライバーは肋骨と鎖骨を折る重傷を負ってしまった。

この事故の負傷で、彼はF1ドライバーを引退することになった。

3. 決勝 (Lap20)

[初] Part6(462)

スパウェザーによるウェット・コンディションの中、20周目にW.メレスとの3位争いを展開していたC.プリストウが高速でクラッシュ。

コースアウト後、アームコ・バリアに衝突した際に首(正確には下顎部)を切断、彼は即死した。

4. 決勝 (Lap25)

[初] Part3(249)

プリストウの死亡事故から5周後、レース走行中のA.ステイシーの顔に鳥が激突するという不運なアクシデントが発生。

ステイシーのマシンはクラッシュ、即死だった。